

道德科 二年 地域教材

三次市立神杉小学校

おくび
尾首山いこいの森へ レッスン・ブー！

かみすぎ小学校のみなみがわのまどから、尾首山が見えます。

春。木々がめを出すころは、山ぜんたいがほんわかとして、明るい気持ちになります。

夏。みどりがいっぱいの山と、その上に広がる青空を見ると、目がさめるようです。

秋。黄色やオレンジに色づいた山はとてもうつくしく、こころがあらわれます。

冬。はっぱをおとした木々に雪がつもり、じっと春をまつ山からは、元気がつたわります。

かみすぎ小学校の校歌にも歌われている尾首山に「いこいの森」があります。

平成二十二年にちいきのみなさんが「尾首山いこいの森づくりじっごういん会」を立ち上げ、ふれあい広場や冒険の森などのせいびをされました。こじで
は毎年いろいろな行事が行われます。



春先には、三年生がシイタケのきんをつえます。じつじついいん会のみなさんがようお願いしてくださったホダ木にドリルであなをあげ、シイタケのこまきんをつえるのです。三年生はシイタケのしゅうかくを楽しみにしながら、みんなできょうしゅへくしてわぎょうします。



夏の「キッズ・チャレンジ」には、たくさんの子どもたちがさんかします。ぼうけんの森で思いっきりあそんだり、ものづくりにちょうせんしたりして、夏休みの楽しい思い出ができます。

秋には「いいいの森 秋のイベント」が行われます。子どもたちだけでなく大人もたくさんさんさんかして、こけ玉を作ったり、焼きも大会をしたり、ゲームを楽しんだり、歌を歌ったりします。



小学校一年生とかみすぎほいくしよのゆり組さんなど、
じっごうもします。ハンモックやすべり台が大人気です。
じっごういいん会のかたも来てくださって、子どもたちが
けがをしないように、見まもってくださいます。



シイタケがはえるじ、じゅしかくに行きます。ホダ木でそだったシイタケは、とてもよいか
おりがしてとてもおいしいです。六年生になった子どもたちがかみすぎ小学校をそつきよう
する時には、ホダ木をプレゼントしてもらえます。

じっごうしてみんなが尾首山で楽しむのも、「尾首山」じっごうの森じっごう
いいん会」のみなさんのおかげです。じっごういいん会のみなさんは、
草をかってくださったり、古くなった木を切ったり、たおれた木をかた
づけたりしてくださっています。どくをもったへびがないか見回りを



したり、ハチのすきをむがして取りのぞいたらこいでくれたのにもあります。みんながあんぜんにあそぶように、気を付けてくださいとのことです。

「子どもたちには、かみそりのせいの甲のびのびとあそび、汗をいそだってほしいです。

また、いじいの森を、学校の学しゅうの場として使ったり、子どもたちとちいきの人たちとの、いじいの場としてかしようしたらこほつとあそびます。」

と、いじいん会の三原和美さんは言われます。

さあ、みなさん。いじいの森へ行ってみましょう。



【教材作成に協力してくださった人】

尾首山憩いの森づくり実行委員会

委員長 三原 和美 様

【文責】深田 真規子